

2025.11.09

訪問栄養食事指導育成研修会

介護支援専門員の立場から

さいたま市介護支援専門員協会
スター訪問看護ステーション 多田功文

本日はお話をさせていただくこと

- 自己紹介・事業所紹介
- ケアマネの実際の業務
- 介入事例と期待すること



自己紹介

- 多田 功文
- さいたま市介護支援専門員協会所属
- 業務
 - 居宅介護支援
 - 一般・特定・障害児相談支援
 - 地域支援
 - 居宅管理



自己紹介

会社概要

○スターコミュニティ株式会社

さいたま市桜区田島4-41-8

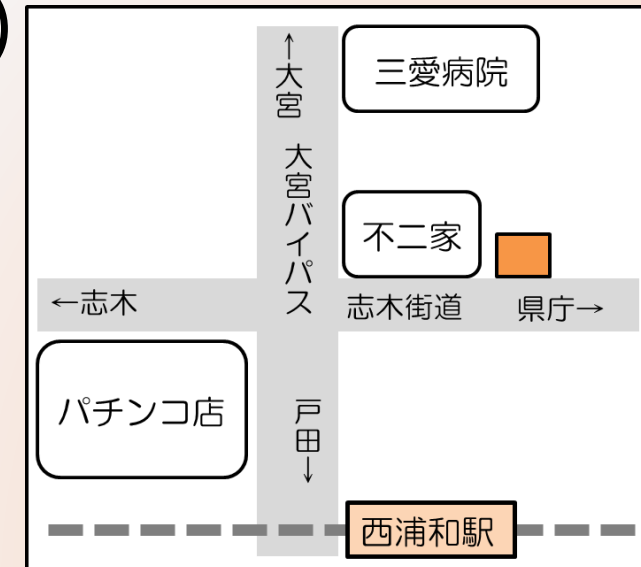
訪問看護（看護・PT・OT・ST）

訪問介護（障害福祉含む）

福祉用具

居宅介護支援

一般・特定・児童相談



自己紹介

事業所・ケース特性

○現在5名で160件超

○ターミナル

○難病パーキンソン・多系統萎縮症・もやもや病・
クローン病・免疫不全・脊髄小脳変性症・ALS・
多発性硬化症・後縦靱帯骨化症・ハンチントン

○生活保護世帯

○年齢幅が広い（40代～100歳超）

件数・職務・職能
インセンティブ手当

ケアマネと実際の業務

- 位置づけとスキル
- 中核業務
- シャドーワーク
- 取り巻く状況



ケアマネ業務

位置づけ

- 介護保険法に位置づけられる
ケアマネジメントを行う
- 医療・福祉系の法定資格所持者が
試験と研修を経て実務に
(国家資格?)



ケアマネ業務

スキル

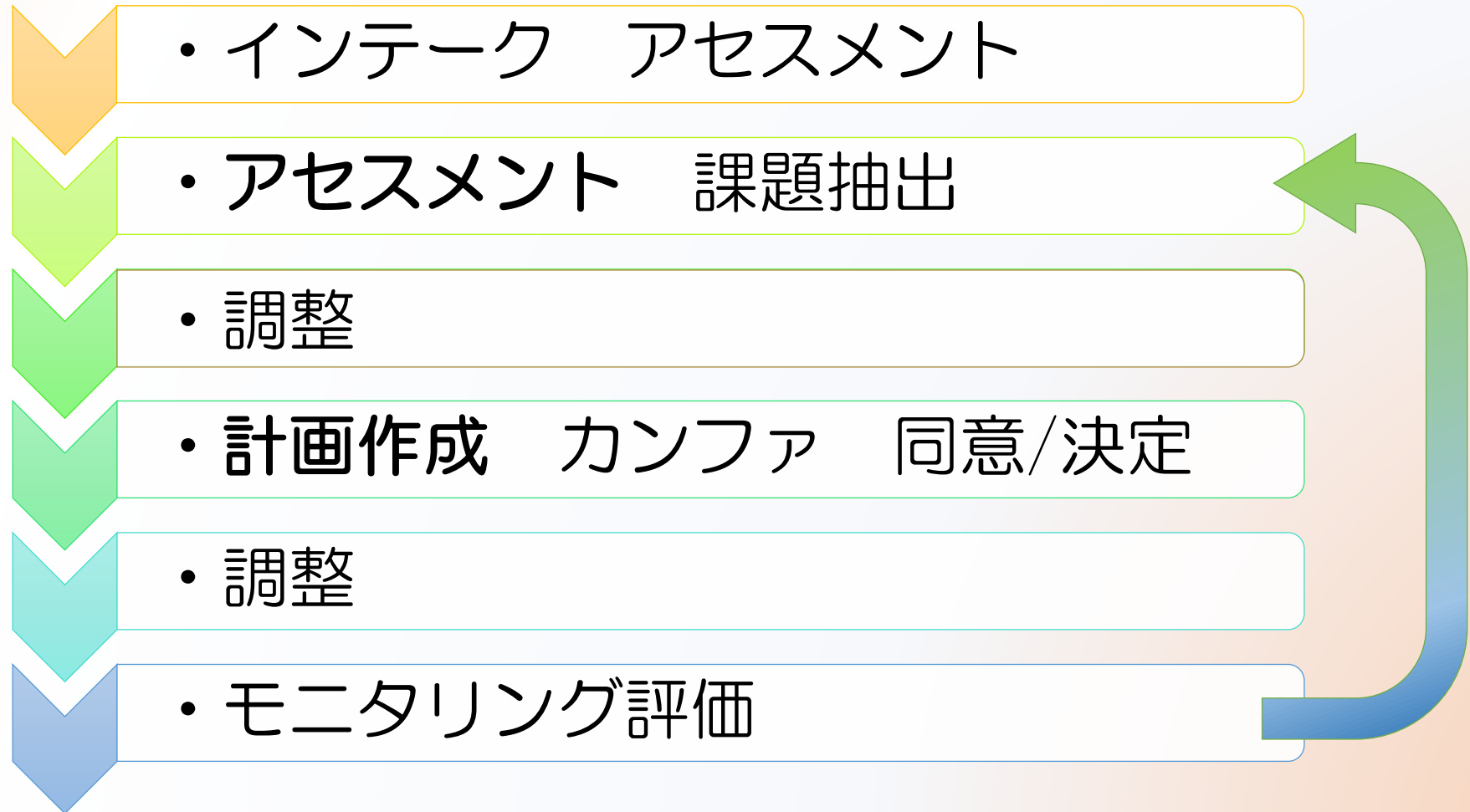
- 介護保険の知識と運用
- 周辺領域の知識と整合性確保
(医療・障害・福祉・地域等)
- チームビルディング (調整)
- ファシリテーション
- コミュニケーション

「介護の人」
ではない

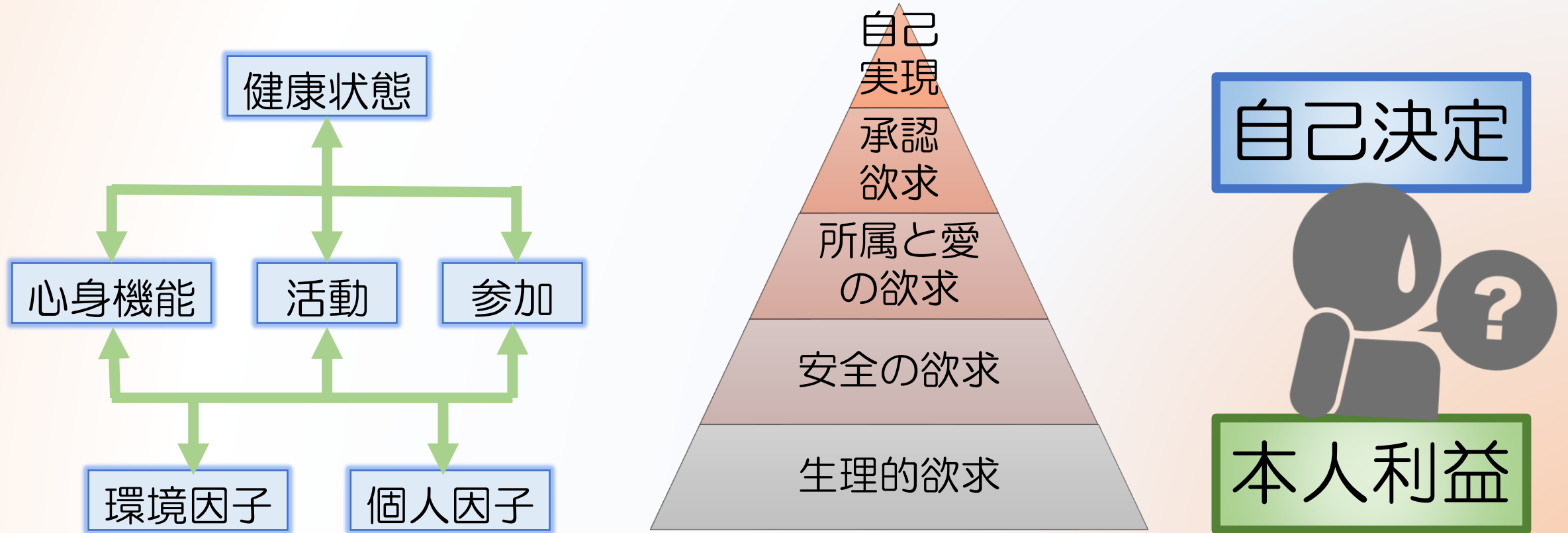


ケアマネ業務

中核業務…ケアマネジメントフロー



中核業務…アセスメント 課題抽出 ICF視点とマズロー欲求の5段階



ケアマネ業務

中核業務…計画作成（本人の決定）
正しいケアプラン ⇔ 利用者特性

IQ・認知症状・高次脳機能障害
生活歴・パーソナリティ・家族理解

後見人業務
だが...

意思決定支援の問題
（セルフネグレクト）

ケアマネ業務

シャドーワーク…何でも屋の常態化

○国・自治体・住民から「福祉」への
寄りかかり

（良しとしているケアマネも）

○何でもケアマネに相談と紹介
（相談→やってくれるに変換）

○隣接業種の無理解

シャドーワーク…直接支援内容（無報酬）

ペット・植物の世話、入院時等の生活用品調達・手続き、買い物代行、ライフライン復旧、銀行手続き、粗大ごみ処理、長時間の電話対応、救急車同乗、通院介助、介護保険外相談、本人とは関係の無い家族相談、直接介護、行政手続き・紛失書類再発行、意思決定支援、安否確認、転倒等による緊急訪問、郵便投函、死後対応、金銭管理、（雪かき）

ケアマネ業務

取り巻く状況

○人材

ケアマネ試験合格者	81万人
うち、在宅	11,1万人
施設	5,8万人

→潜在ケアマネ50万人超

ケアマネ平均年齢 52.5 (54) 歳
(合格者R6 就業者R4/実数 年齢R6)

取り巻く状況

取り巻く状況

○報酬…利用者1人/月あたり

本体報酬12,000円～15,000円

加算 事業所加算

入院時・退院時

ターミナル 等

さいたま市
協議中

要支援

I 4,000円

II 5,200円



取り巻く状況

- 介護保険改正は3年に1度
24改正で規制緩和となったが…
 - 膨大な記録や書類対応
 - 変革できる人材の枯渇
 - 経営者・理事の無理解等 により、
対応できている事業所は非常に少ない
(ICT連携利用率7%が指標)

介入事例と期待すること

○管理栄養士介入経緯

○期待すること



事例

概要

50代男性 独居 生活保護世帯

主訴 体の状態に合わせて現在の場所で
生活を続けたい

既往 後縦靱帯硬化症
高血圧
心房細動

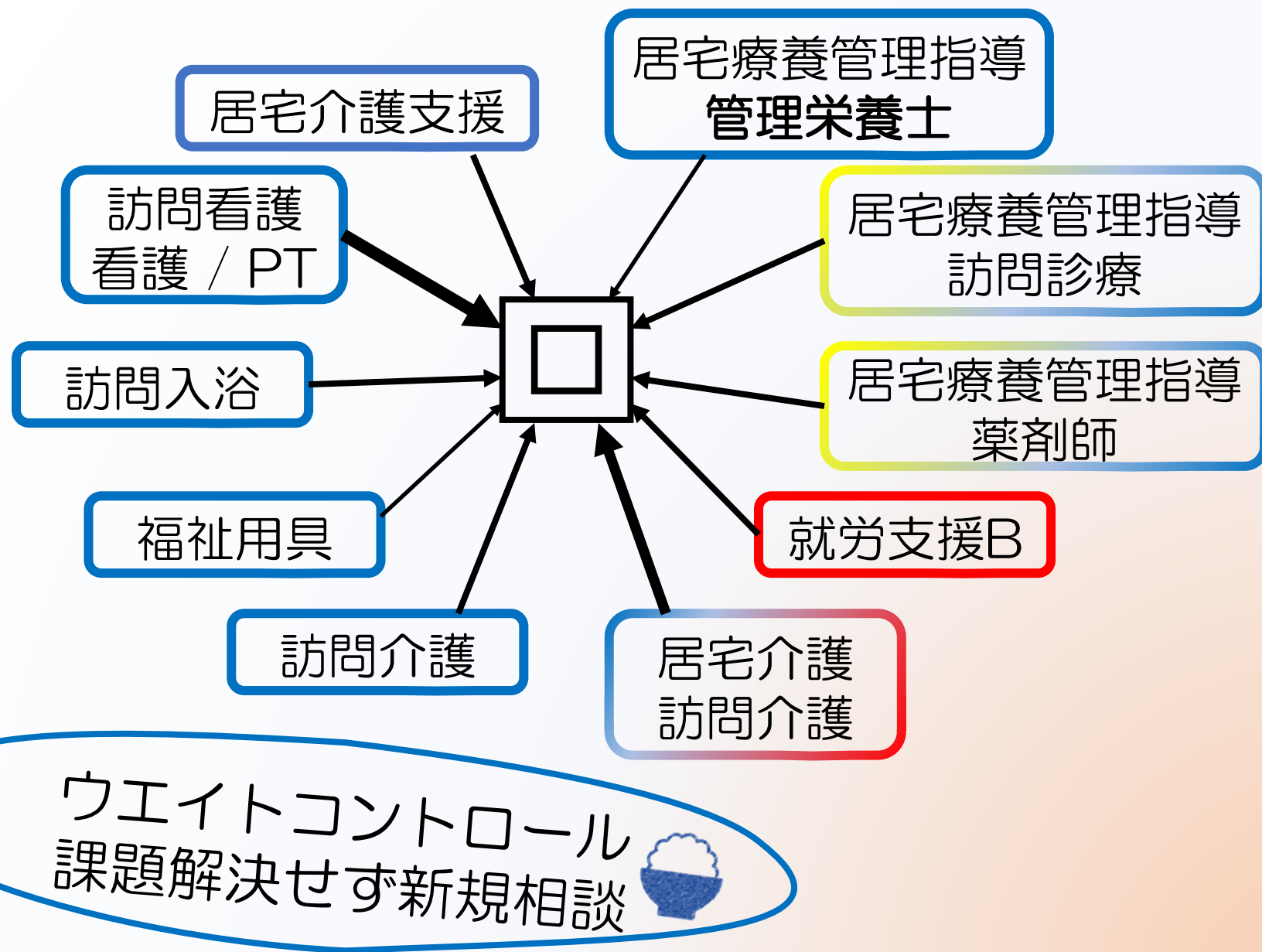
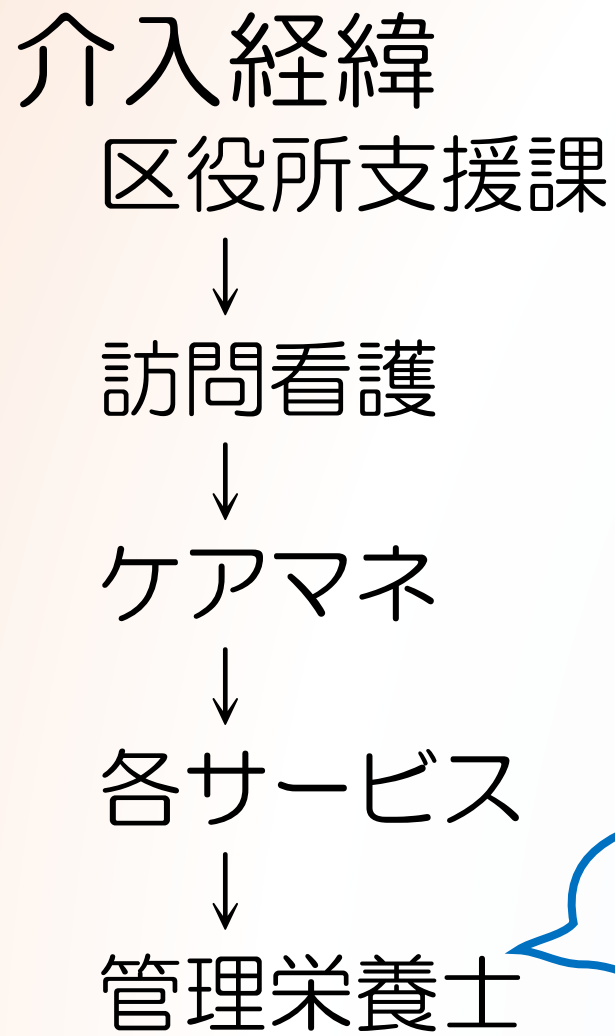


事例

課題

- 難病によりADLは低下傾向
下肢不動/車いす生活/トイレ困難
- バリアだらけの住環境
- 意思決定支援者不在
家族はいない/親戚がいるが関りなし
- 体重90kgオーバー（身長175cm）
ADLに影響

事例



期待すること

専門性を生かした連携

中心を誤らず（誰のため？何のため？）

本人（と生活）を理解し

○情報・目標の共有（誤解無く）

○相互理解

○相互支援

○意思決定

○役割分担

コアビリーフと
暗黙知が衝突

利用者ニーズに視点

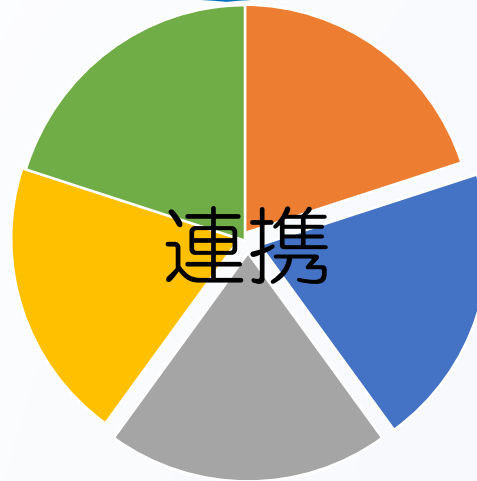
期待すること

○連携といっても…

情報を一方的
に伝える



相手の役割を
理解し補完



同じ目標を
共有し相互支援
しながら行動



各専門職の文化・価値観・教育等の正しい理解
リフレクションから概念化

ありがとうございました

今後ともケアマネとの連携・協働を
どうぞよろしくお願いいたします
併せて、ケアマネに対する要望・ご指導
も頂けると幸いです

